



## スピリチュアルケアの働き

上智大学グリーンケア研究所客員所員  
元 上智大学大学院実践宗教学研究科教員  
元 立正佼成会附属佼成病院チャプレン

伊藤 高章

救世軍の医療・福祉施設には、スピリチュアルケアの専門職チャプレンが働いています。昔は基督教伝道者というイメージがあったかもしれませんが、現在、欧米の大きな病院では、仏教・イスラーム・ユダヤ教・ヒューマニストなどのチャプレンと一緒に働いています。患者さんの信仰にかかわらず、また特定の信仰を持たない方のベッドサイドに伺います。私は、スピリチュアルケアは、異文化間コミュニケーション(「翻訳家」もしくは「通訳」に少し似ている仕事)というイメージを持っています。



病院・施設ではいろいろな言葉が話されています。それぞれの患者や家族が語るその方の生活や日常の言葉、リハビリスタッフや介護職が語る体の動きや感覚の言葉、ソーシャルワーカーや福祉職が使う制度や社会関係の言葉、医療者や心理職が使う科学の言葉、また、組織運営に関わる言葉。それぞれの方は、自分が一生懸命語ったことが相手に伝わることを期待しています。しかし、言葉は聞こえても、その人がどのような思いでその事柄を語っているのか、何のためにその表現を使っているのか、は伝わらないことが多いのかもしれません。誤解も生まれます。チャプレンは、患者が、家族が、スタッフが、専門職が、組織の人が、本当はどんな思いで何を目指してその表現で語るのかに関心を持っています。そしてその人の思いをちゃんと知りたい、という気持ちでその人のもとに赴き傾聴します。

キリスト教は、人の思いが伝わることはじつはとても難しいと考えています。旧約聖書の「バベルの塔」の話から、高度な技術を結集して何か大切なことを成し遂げようとした時、言葉が通じなくなることを学びます。新約聖書の「ペンテコステ」の記事にあるように、人と人との間に神様の力(聖霊)が働くときに、やっと言葉が通じます。チャプレンは、自分が一生懸命その人の思いを聴くという働きを通して、その仲立ちになりたいと願っています。

## 医療療養病棟

面会制限を緩和し、4カ月が経ちました。面会の度に、私たちにはできない“大いなるケア”を目の当たりにします。

ご家族やご自身の人生に深くかかわられた方の面会は格別です。母娘の絆を更に紡ぐようなひとときの面会、懐かしい日々を僅かな言葉で確認し合うご夫婦、集っておられた教会の牧師さんに祈られ、心から満たされた表情の患者様とご夫人。

私たちは、そのような患者様の表情を思い浮かべ、患者様お一人お一人を“あなたが大切だから”という思いで日々歩みたいと願っております。



## 介護医療院シャロン



梅雨時期の湿度の高さや外へお散歩に行けない憂鬱な時間を楽しく穏やかに♪

入居者の方々と一緒に紫陽花を作ったり、子供の頃の話をして七夕飾りを作ったり、短冊にお願い事を書いてみたり。

お一人お一人の日々の中、少しでも心穏やかな時間が流れますように☆彡





## ホスピス緩和ケア病棟

デイルームに自動販売機を導入しました。美味しく冷たい飲み物を飲むことは身体の喜び、飲み物を自分で見て選ぶことは、心の喜びでもあります。

また、デイルームには新しいソファセットと背の高いパーティションを設置し「安息の場」と名付けました。人の視線を気にすることなく、心や身体を休めたり、今の想いを誰かに吐露したり、ほっと安心できる場です。

いずれも、お気持ちに寄り添うケア、患者様の尊厳を支えるケア、スピリチュアルケアにつながっています。



## 医療部講演会 & 「KIYOSE暮らしの保健室Café」

6月2日(日)に、救世軍清瀬病院ではコロナ後初の、対面での「医療部講演会」を催すことができました。総勢61名の参加者があり、感謝いたします。「がん哲学外来メディカルカフェ」を始められた順天堂大学名誉教授の樋野興夫先生のご講演の後は、グループ対話をして、充実した時間となりました。会では、地域の方々の優しさに触れ、病院スタッフのほうで癒されたり、学ばされたり、とても優しい時間となりました。地域の方々と病院がつながることの豊かさを知る時となりました。これを機に、救世軍清瀬病院では、清瀬地域の皆様との対話の場、地域の皆様のくつろぐ場、健康や人生について対話する場、なんとなくの居場所、相談の場を兼ねた、「KIYOSE 暮らしの保健室 Café」をオープンします。地域の方はどなたでもお気軽にお越しください。お茶をご用意してお待ちしております。



### KIYOSE暮らしの保健室Café

- 7月13日(土)から隔月第2土曜日
- 時間: 14時～ 16時
- 場所: 救世軍清瀬病院敷地内「ルカの家」
- 参加無料です。



## ホスピス緩和ケア週間・もしバナ体験会

毎年10月に、ホスピス啓発普及活動の期間としてホスピス緩和ケア週間があります。

当院では10月19日(土)13:30～「もしバナ体験会+ホスピス緩和ケア病棟説明・見学会」を企画しました。どなたでも無料でご参加いただけます。詳しくは病院ホームページや広報誌『もしバナ通信』をご覧ください。

お申し込みは右記、QRコードまたは、おハガキ(氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記載)でお申し込みください。



シリーズ連載

### チャプレンの窓

#### 「チャプレンが大事にしていること」

出会い。一期一会。『深遠な存在のすべて』としてのプレゼンス。弱さ。傷つきやすさ。ありのまま。存在と存在。いることを問われている者として居続けること。感謝。そして最後に、それらは、『祈り』ということ。

それらを携え、患者様、ご家族様、ご遺族様、スタッフとの対話、そして祈り、礼拝の機会を大事にしております。



### ホスピス・療養病棟の入院問合わせ

当院は無料低額診療事業を行っております。

**TEL: 042-491-1412** (月～土 9:00～17:00)



### 介護医療院シャロンへのお問合わせ

**TEL: 042-497-8185**

受付時間 平日 9:00～17:00 (祝日を除く月曜日～金曜日)

<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp/sharon/>

詳しくは、当院のWEBサイトをご覧ください。ご不明な点はお電話にてご相談ください。



**救世軍清瀬病院**

The Salvation Army Kiyose Hospital

**TEL: 042-491-1411**

〒204-0023 清瀬市竹丘1-17-9

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。詳しくはホームページをご覧ください。

